

令和5年度  
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

## 1 会議に関する事項

### (1) 令和5年度第1回理事会

#### ア 日時及び場所

令和5年5月26日(金) 10時～ 国立劇場おきなわ会議室

#### イ 議事

- ・報告事項 理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について
- ・議案第1号 令和4年度事業報告及び決算報告について
- ・議案第2号 令和5年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

### (2) 令和5年度第1回評議員会

#### ア 日時及び場所

令和5年6月14日(木) 10時00分～ 国立劇場おきなわ会議室

#### イ 議事

- ・報告事項 令和4年度事業報告について
- ・議案第1号 令和4年度決算報告について
- ・議案第2号 理事の選任について

### (3) 令和5年度第2回理事会

#### ア 日時及び場所

令和5年6月14日(木) 14時00分～ 国立劇場おきなわ会議室

#### イ 決議があったものとしてみなされた事項

- ・議案第1号 常務理事の選定について
- ・議案第2号 財団施設使用規程の改定について

### (4) 令和5年度第3回理事会

#### ア 日時及び場所

令和6年3月13日(水) 14時～ 国立劇場おきなわ会議室

#### イ 議事

- ・報告事項 理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について
- ・議案第1号 令和6年度事業計画及び収支予算について
- ・議案第2号 事務局職員の任用について
- ・議案第3号 令和5年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

### (5) 令和5年度第2回評議員会

#### ア 日時及び場所

令和6年3月26日(火) 13時55分～ 国立劇場おきなわ会議室

#### イ 議事

- ・議案第1号 令和6年度事業計画及び収支予算について
- ・議案第2号 評議員の選任について

## 2 沖縄伝統芸能等の公演

### (1) 自主公演の開催【年度計画：24公演38回】

23公演37回（定期公演19回、企画公演6回、研究公演1回、普及公演11回）を実施した。（1公演1回は台風接近のため中止。）

ア 公演実績（カッコ内は年度計画の数値）

区分	公 演 名	公演数	回 数
定期公演	組踊	3 (3)	3 (3)
	琉球舞踊	7 (7)	11 (11)
	三線音楽	2 (2)	2 (2)
	沖縄芝居	1 (1)	2 (2)
	民俗芸能	1 (1)	1 (1)
		<b>14 (14)</b>	<b>19 (19)</b>
企画公演	開場20周年 祝いの宴	1 (1)	1 (1)
	アジア・太平洋地域の芸能	1 (1)	1 (1)
	本土の芸能	2 (2)	2 (2)
	その他	1 (1)	2 (2)
		<b>5 (5)</b>	<b>6 (6)</b>
研究公演	「花売の縁」	1 (1)	1 (1)
普及公演	組踊鑑賞教室	2 (2)	8 (8)
	琉球舞踊鑑賞教室	0 (1)	0 (1)
	沖縄芝居鑑賞教室	1 (1)	3 (3)
		<b>3 (4)</b>	<b>11 (12)</b>
合 計		<b>23 (24)</b>	<b>37 (38)</b>

※【自主公演日程・演目・出演者】及び【自主公演入場率】は後記

### イ 実施状況

定期公演では、組踊公演で長年親しまれてきた「孝行の巻」の他、田里朝直の没後250年を記念した「大城崩」「万歳敵討」を一挙上演した。また、物語の途中に能楽「三井寺」の謡曲が謡われるなど、能と組踊のつながりを感じさせる演目である「屋慶名大主敵討」を当劇場で15年ぶりに上演した。琉球舞踊公演では定番となっている「男性舞踊家の会」のほか、若手の舞踊家で構成する「うりずんの舞」、「新進男性舞踊家の会」の他、豊かな創作舞踊の世界を紹介する「創作舞踊の会」や「打組舞踊の会」等を上演し、琉球舞踊の魅力を発信した。また、国重要無形文化財「琉球舞踊」保持者の出演で「琉球舞踊特選会」を上演した。三線音楽公演では、琉球古典音楽の祖である湛水親方の生誕400年を記念し、当劇場においても上演機会の少ない琉球古典音楽 湛水流に焦点を当てた「湛水流の美」、沖縄民謡界を牽引してきたベテラン勢による味わい深い歌唱と三線音楽の魅力を幅広く紹介する「名人たちの歌情け」を上演した。沖縄芝居公演では、当劇場の舞台機構を駆使し、沖縄芝居の魅力を堪能する公演制作に努め、舞踊の名手でもある名優玉城須美雄の作品で、当劇場初上演となる「三良若按司」を上演した。民俗芸能公演では、沖縄本島各地域に継承される民俗芸能を上演し、各地域の特色を活かした個性豊かな演目を取り上げた。

企画公演では、国立劇場おきなわ開場20周年記念公演の幕開けとして、琉球芸能の中でも祝儀を意味する演目を集め「開場20周年 祝いの宴」を上演した。また、「組踊・歌劇傑作選」と題し、組踊と歌劇の中でも名作と言われている作品を一つの公演で上演した。このほか、本土の芸能から山口県の無形文化財に指定されてい

る「山口鷺流狂言」、アジア・太平洋地域の芸能として台湾の伝統的な室内楽「南管」、毎年秋の実施が定着している「国立劇場寄席」を上演した。

研究公演では、首里士族の芸風を継承した金武良章氏から伝わる組踊の研究を目的とした公演を試み、指導に金武氏の組踊継承者の一人である知念績有を迎え、男女混合の立方による組踊「花売の縁」を上演した。

普及公演では、親子のための組踊鑑賞教室「二童敵討」、小学生以上の児童・生徒・学生等を対象とした組踊鑑賞教室「執心鐘入」、外国人向けの公演「はじめての組踊 ～Discover KUMIODORI～執心鐘入」で、組踊の理解を深める工夫をし、解説を交えながら上演した。また、沖縄芝居についても、歴史や鑑賞のポイントを紹介し、新たな観客層の拡充に努めた。琉球舞踊鑑賞教室は台風接近のため中止となった。

(2) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演の広報・宣伝活動の推進

- ・公演ごとにチラシやポスターを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、自治会、図書館等へ配布を行った。（年間延べ約6,900箇所に対し約90,000枚配布）（チラシ・ポスター 月約17,000枚作成）
- ・親子向けの夏休み公演については、重ねて学校や学童へメーリングで周知を図った。
- ・「3月企画公演 本土の芸能 山口鷺流狂言」において、演目の一つが小学校の国語の教科書（光村図書）に採用されていることから、近隣の学校の6年生児童へチラシを配布した。

イ 看板、ポスター等掲出

- ・劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

(ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	・琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄等での公演告知。 ・沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーでの公演紹介とチケットプレゼント ・琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぷらざ」の行事案内欄での公演告知と、広告欄での広告掲載を行った。
Web	「ぴらつか暦」、「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-」、「PRTIMES」 「うらそえナビ」
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」「OKINAWAN LIVING」

(イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

- ・「オキナワグラフ2月号」にて開場20周年に関する記事及び公演の案内を掲載。

(ウ) 開場20周年記念公演 組踊・歌劇傑作選に向けて、1月31日から3月17日まで、県内民放ラジオ局全局（3局）で国立劇場おきなわのスポットCMを実施した。

また、芸術監督によるラジオカー出演1回、ラジオ局MCによる宣伝4回、常務理事兼事務局長や芸術監督が出演してのラジオ番組での広報を3回、計8回行った。

エ その他

- (ア) 公演解説書「ステージガイド」を月単位で発行し、販売した。
- (イ) 令和5年度自主公演年間予定表の多言語版（英語・繁体語・簡体語・韓国語）を制作し、観光施設等で配布した。
- (ウ) 組踊・沖縄芝居公演等の英語版チラシを制作し、ホームページへの掲載及び劇場等での配布を行った。
- (エ) 2024年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び配付を行った。
- (オ) ホームページを改修し、外国人の方が公演情報の詳細多言語のサイトを追加したほか、英語のホームページについて、最初に出る画面を公演情報一覧のページに変更した。
- (カ) 外国人観客の案内や問い合わせに対応するための多言語対応のタブレットによる通訳サービスの実施
- (キ) 県内の自治会を始め、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ自主公演年間リーフレットを送付した。（年間約600箇所、約11,500枚）
- (ク) 沖縄県台北事務所と連携して県内アーティスト（夏川りみ）の台北（約2,000名）、台中（約3,000名）コンサートで開演前に4回当劇場の動画（繁体字版）を配信、会場で年間スケジュール（多言語版）のチラシを設置し周知を行った

(3) 貸切バス費用助成事業

（沖縄県・国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業（執行額914千円：内県負担額891千円））  
観劇の際に利用する貸切バスの費用を助成する貸切バス費用助成事業（30名以上の団体を対象）を実施し、自主公演の鑑賞促進を図った。（15件33台助成1,568人利用）

(4) 「新作組踊戯曲大賞」の公募・選考・表彰

沖縄の伝統芸能の保存振興を図るため、新たな作品の創造を目指して「新作組踊戯曲大賞」を6月から募集した（応募期間：9/15～10/16）。

- ◇ 大賞 該当作品なし
- ◇ 奨励賞 「恋染の手巾」大城貴幸
- ◇ 奨励賞 「玉掛けの糸」鈴木耕太
- ◇ 佳作 「笠松若茶良」伊良波賢弥

(5) 県外における公演及び制作協力

ア 県外公演（文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業（文化観光基盤整備事業））  
（執行額9,383千円：内県負担額4,056千円※県外ワークショップ経費等含）

(ア) 九州市民大学公演「琉球芸能の美と心」

- 主 催：一般社団法人九州市民大学  
公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
- 会 場：アクロス福岡・福岡シンフォニーホール
- 日 時：令和5年12月5日（火）14:30／18:00 2ステージ
- 演 目：琉球舞踊8題
- 入場者数：2回計 2,052人（総席数 3,600）
- 予 算：沖縄県文化資源を活用した沖縄観光魅力アップ支援事業
- そ の 他：国立劇場おきなわの自主公演のチラシを配布

(イ) 国立劇場おきなわ特別公演「琉球舞踊と組踊」

主 催：岡山市、公益財団法人岡山文化芸術劇場  
公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団  
会 場：岡山芸術創造劇場 ハレノワ  
日 時：令和6年2月11日(日)14:00 1ステージ  
演 目：琉球舞踊6題、組踊「執心鐘入」  
入場者数：492人(総席数 635)  
予 算：沖縄県文化資源を活用した沖縄観光魅力アップ支援事業  
そ の 他：組踊等関連展示、国立劇場おきなわのグッズ販売、  
自主公演チラシ配布、沖縄の観光案内パンフレット等配布

イ 制作協力

(ア) 初代国立劇場さよなら特別公演

令和5年10月 琉球芸能公演 組踊と琉球舞踊一名手による至高の技芸一  
主 催：独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場  
日 時：令和5年10月22日(日) 11:30/14:00 2ステージ  
会 場：国立劇場 小劇場  
演 目：11:30の部 保持者による琉球舞踊4題、組踊「女物狂」  
14:00の部 保持者による琉球舞踊4題、組踊「二童敵討」  
入場者数：2回計 1,050人

(イ) 国立能楽堂40周年記念

令和5年11月 能と組踊  
主 催：令和5年度(第78回)文化庁芸術祭主催公演  
独立行政法人日本芸術文化振興会 国立能楽堂  
日 時：令和5年11月24日(金)17:30 / 25日(土)13:00 2ステージ  
会 場：国立能楽堂  
演 目：24日(金) 組踊「万歳敵討」/能「夜討曾我」  
25日(土) 組踊「執心鐘入」/能「三井寺」  
入場者数：24日(金) 617人 / 25日(土) 611人

(6) 組踊ワークショップ等の実施

ア 県内ワークショップ

組踊公演「孝行の巻」、組踊「大城崩」「万歳敵討」及び「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『執心鐘入』」の開演前に、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップを開催した。

また、「組踊」のブランディングと国立劇場おきなわへのインバウンド誘客を図るため、首里城にて英語の逐次通訳付きでワークショップを実施した。

具体的には、「孝行の巻」及び「大城崩」「万歳敵討」では、近畿日本ツーリスト沖縄と連携し、公演日に琉球の歴史文化を学ぶ鑑賞ツアーを実施することで、県外観光客等の誘客を図った。(令和5年5月13日(土)「孝行の巻」参加者7名、令和5年8月26日(土)「大城崩」「万歳敵討」18名 計25名)

「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『執心鐘入』」のワークショップでは、外国人が参加できるよう英語通訳を配置し、レクチャー・体験等を通して組踊への理解を深めていただいた。沖縄観光コンベンションビューローとの連携により、スペイン人旅行ジャーナリスト3名も参加した。(令和5年11月18日(土)参加者16名)

首里城での組踊ワークショップは、「組踊ワークショップin首里城」と題し、1日2回を3日間、計6回実施し、多くの外国人を始めとした観光客層にアピールすることができ、「組踊」や「国立劇場おきなわ」を全く知らない層に対し、組踊の歴史や魅力を伝えることができた。（令和5年7月19日（水）参加者60名、令和5年9月27日（水）参加者94名、令和5年11月16日（木）参加者92名 計246名）

#### イ 県外ワークショップ

岡山芸術創造劇場で行われた「琉球舞踊と組踊（2/11）」の関連企画として、岡山後楽館中学校の学生向けに「琉球舞踊と組踊ワークショップ」を開催した。

- ・令和6年1月23日（火）/岡山後楽館中学校（参加者71名）

#### (7) 自主公演の開催準備

令和6年度開催の自主公演のあり方等について検討するため、公演事業委員会を令和5年8月25日、令和6年3月26日に開催した。

### 3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊（立方・地方）の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

#### (1) 研修の実施（第七期組踊研修：令和5年4月～令和6年3月）

組踊（立方・地方）：第七期（9名）の1年目の研修を実施。  
立方5名及び地方4名（歌三線4名）

#### (2) 主な講師

宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか（総勢14名）

#### (3) 養成状況

##### ア 主な授業

組踊実技（立方、三線）、副実技（琉球舞踊、太鼓等）、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、作品研究、琉球古典語基礎、組踊史跡見学、公演見学、研修発表会

##### イ 授業回数 合計514回

- ・組踊実技の実施（90分の292回 立方142回・地方150回）
- ・副実技の実施（90分の52回）
- ・基礎実技の実施（90分の128回）
- ・講義研修（特別講義含む）の実施（90分の18回）
- ・鑑賞・見学研修の実施22回
- ・研修発表会の実施2回

##### ウ 休暇等

春季休暇 令和6年3月13日～令和6年3月28日

夏季休暇 令和5年8月14日～令和5年8月31日

冬季休暇 令和5年12月18日～令和6年1月4日

#### (4) 研修生発表会の実施

- ア 第七期組踊研修生第1回発表会：令和5年10月5日、国立劇場おきなわ大劇場  
演 目：組踊「執心鐘入」  
鑑賞者数：461名

- イ 第七期組踊研修生第2回発表会：令和6年3月7日、国立劇場おきなわ大劇場  
演 目：組踊「二童敵討」  
鑑賞者数：457名

(5) メニュー、研修実施方法等の検討

- ア 組踊研修講師会議の実施（年間3回）

- イ 養成事業委員会の開催

組踊養成事業に関する現状報告及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を令和6年3月18日に開催した。

(6) 組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

組踊既成者研修第13回発表会：令和5年11月25日、国立劇場おきなわ大劇場  
演 目：琉球舞踊（かぎやで風、稲まづん、揚作田）、組踊「賢母三遷の巻」  
鑑賞者数：165名

#### 4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	12	27	0	39
逐次刊行物	冊	49	144	24	217
公演・演出台本	冊	1	0	24	25
上演資料集	冊	0	0	1	1
合 計		62	171	49	282

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	0	27	27
録画テープ(VHS)	本	0	0	0	0
録画テープ(DVCAM)	本	0	0	0	0
録画テープ(HDCAM)	本	0	0	0	0
DVD	枚	0	0	25	25
組踊等衣装	着	0	0	0	0
レコード・CD	枚	0	0	0	0
ポスター	枚	0	0	53	53
チラシ	冊	0	0	0	0
展示図録	点	0	6	0	6
冊 子	点	0	0	0	0
その他(HDDデータ等)	点	0	0	22	22
合 計		0	6	127	133



(2) 上演資料集、古文献等の調査研究等

金武良章から伝わる組踊を初めて取り上げ、知念績有氏指導のもと上演した研究公演「花売の縁」についてまとめた『国立劇場おきなわ上演資料集「花賣の縁」』、国立劇場おきなわ20年間の自主公演を網羅して編集した『国立劇場おきなわ20年の公演記録』を製作・刊行した。

(3) 展示

沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるため、国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示した。

期 間	名 称	内 容
令和5年 4月8日(土) ～6月18日(日) <72日>	第1回 企画展 「近現代の男性舞踊家 I」	戦前から戦後にかけて活躍した男性舞踊家4名(真境名由康、玉城盛義、宮城能造、阿波連本啓)に焦点をあて、衣裳・道具類を展示した。
令和5年 7月8日(土) ～9月18日(月) <56日>	第2回 企画展 「こどものための組踊入 門」	琉球国時代に生まれた組踊のうち玉城朝薫の5つの作品「朝薫五番」を大城さとし氏が描く漫画を展示することで、わかりやすく紹介した。
令和5年 10月14日(土) ～12月17日(日) <65日>	第3回 企画展 「劇場の歩み I」	今年度は平成16年1月に国立劇場おきなわが開場して20周年を迎える。国立劇場おきなわが建設され、開場記念公演に至るまで、劇場建設に尽力していただいた先達に焦点をあてた展示をおこなった。
令和5年 1月13日(土) ～3月17日(日) <65日>	第4回 企画展 「劇場の歩み II」	開場記念公演の後から現在に至るまでの自主公演をブース毎にテーマを設定し、紹介した。国立劇場おきなわが歩んできた20年を写真等で振り返った。

【4回の企画展示の入場者数合計(カウント数)】10,546名(258日間)  
(計画10,000名 達成率105.5%)

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

ア 自主公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演(1回)の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を4回実施、入場者数 769名。

(5) 公開講座

伝統芸能の理解促進と普及を図るため、以下のとおり伝統芸能に関する公開研究講座を4回実施した。公演記録鑑賞会と同時開催とし映像鑑賞を含めることで観客の興味を喚起した。

・「古典音楽を味わう」 令和5年5月10日

沖縄三線音楽研究・演奏家の新城亘氏(沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」保持者)の講義と、古典音楽の名手である幸地亀千代、宮里春行、安富祖竹久にゆかりある方々(玉城節子・西江喜春・比嘉康春)を迎え名人の記録音源を鑑賞した。(小劇場/観客数 191名)

- ・「こどもサマースクール」 令和5年8月6日～11日  
 子ども達に琉球歌劇と琉球舞踊について実技・発表・鑑賞を通して学ぶことで芸能へ関心を育むことを目的とした文化庁受託事業。喜歌劇と琉球舞踊の体験機会を提供し、喜歌劇15名、舞踊15名の子ども達が6日間の稽古を重ね、舞台に立つ経験をした。一方、客席においては、子ども達による喜歌劇と琉球舞踊、琉球芸能ワークショップ、プロの役者による喜歌劇、琉球からくり花火の映像鑑賞など、舞台芸能鑑賞を体験した。(大稽古場・大劇場/参加者 258名)
- ・「開場20年を振り返る」 令和5年12月12日  
 国立劇場おきなわ開場20周年を記念した企画。前芸術監督嘉数道彦氏を迎え、金城真次、茂木仁史とともに過去の自主公演から思い出の舞台を振り返った。また、岩波映画製作所が撮影し、その後、幻となっていた映画「御冠船踊」(43分)を国立劇場おきなわで初上映した。東京・国立劇場において上演された公演の中でも、最高水準の立方、地謡が出演した名舞台であり、岩波映画製作所が芸術的に仕上げた珠玉の記録映像だったが、近年では上映会などに供されることもなく、幻の作品となっていたもので、今回発掘された記録映像を鑑賞した。(小劇場/観客数 163名)
- ・「からくり花火ー琉球と近世日本ー」 令和6年2月15日  
 琉球国には独自の「からくり花火」があり、当劇場では1866年の尚家文書「火花方日記」に記載される5基のからくり花火のうち、これまでに4基の復元による実演を行ってきた。講座では、江戸時代から行われている長野県「上清内路の手作り花火」と、茨城県「一言主神社のからくり綱火」について、お話と映像鑑賞から、からくり技法の共通点や相違点などから、近世の花火師の技術や創意を明らかにした。講座の最後には劇場横の公園にて、未着手であった5基目の琉球からくり花火「玉火」の復元による実演を行った。(小劇場/観客数 157名)

(6) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

国立劇場・国立能楽堂・国立文楽劇場・新国立劇場で運用している図書システムに、国立劇場おきなわの図書システムを統合することで、5館の図書・資料等の一元的検索が可能となり、利用者の利便性の向上と、システムに係る経費削減を図った。

(令和5年3月より統合運用開始)。

レファレンスルーム利用者：4,735名(うち一般2,138名)

映像・音声視聴：3,574件(4,312時間)、映像・音声複製：32件(28時間)

公開資料：平成16年度～令和5年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

(7) 展示パネル等の活用

組踊等の沖縄伝統芸能の普及のため、県外公演(岡山芸術創造劇場ハレノワ(2/11))に合わせて衣装等の展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況（大劇場、小劇場、稽古室等）

令和5年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場及び小劇場

ジャンル	大劇場		小劇場		計	
	件数	使用日数	件数	使用日数	件数	使用日数
組踊	7	10	10	16	17	26
演劇	0	0	5	11	5	11
舞踊	8	17	24	43	32	60
古典音楽	5	8	6	9	11	17
民謡	2	3	1	1	3	4
民俗芸能	1	1	0	0	1	1
その他（講演会等）	10	11	17	22	27	33
計	33	50	63	102	96	152

【令和4年度実績との比較】

大劇場：件数で1件の増、使用日数で2日の増。

小劇場：件数で7件の増、使用日数で10日の増。

大劇場及び小劇場の合計：件数で8件の増、使用日数で12日の増

イ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	425 件	1715.0 時間
中稽古室	485 件	1582.0 時間
第1・2小稽古室	423 件	1426.5 時間
第2小稽古室	290 件	726.5 時間
第3小稽古室	523 件	1487.0 時間
第5小稽古室	471 件	1207.5 時間
第6小稽古室	716 件	2009.0 時間
交流プラザ・会議室	182 件	701.0 時間
合計	3515 件	10854.5 時間

※令和4年度の実績と比較すると、件数で1件の増、使用時間で398.5時間の減。

【参考】劇場稼働率（自主公演+貸公演等）大劇場67.0%、小劇場48.8%

稽古室稼働率75.0%

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

ア 施設利用の案内をホームページに掲載するとともに、適宜、貸劇場の空き状況を掲載した。

イ 劇場利用のご利用案内リーフレットを配布し、貸劇場の広報宣伝を行った。

ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。

エ 令和6年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。

オ 稽古室のご利用案内リーフレットを増刷して館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

(3) 国立劇場おきなわ施設使用予約システムの運用

ア 稽古室等の利用者の利便性を図るため、令和3年5月から、国立劇場おきなわ施設使用予約システム（通称：稽古室使い隊！）の運用を開始し、ウェブ上で稽古室等の予約が行えるようになった。

- イ 本システムの稼働により、24時間いつでも稽古室等の予約を行うことが可能となっている。
- ウ 令和3年7月からは、稽古室等の使用料について、クレジットカードによる支払及びコンビニでの支払が可能となっている。
- エ 令和4年度からは、LINEを活用した稽古室の予約及び変更並びに利用者からの問い合わせ等に対応するサービスの提供を開始することにより、利便性の向上に努めている。

## 6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

### (1) 業務委託費

- ア 警備業務請負契約
- イ 清掃業務請負契約
- ウ 施設運転監視業務請負契約
- エ 舞台技術常駐業務請負契約
- オ 劇場案内等業務委託契約

### (2) 機械保守費

- ア 中央監視システム保守点検業務請負契約
- イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約
- ウ 舞台機構保守請負契約
- エ 音響設備定期保守業務請負契約
- オ 照明設備定期保守業務請負契約
- カ 映像収録設備定期保守業務請負契約

## 7 「日本博」関連事業

### (1) 自主公演のうち日本博事業として実施した公演

- ・ 7月22日 親子のための組踊鑑賞教室「二童敵討」
- ・ 8月5日 琉球舞踊鑑賞教室 ※公演中止
- ・ 9月14日～16日 沖縄芝居鑑賞教室「割符」
- ・ 9月30日 組踊「花売の縁」
- ・ 11月15日～18日 組踊鑑賞教室「執心鐘入」  
(はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「執心鐘入」含む)
- ・ 1月13日 開場20周年 祝いの宴
- ・ 3月16日～17日 組踊・歌劇傑作選  
「花売の縁」「泊阿嘉」  
「執心鐘入」「薬師堂」

### (2) オーディオガイドシステム等の導入

親子のための組踊鑑賞教室「二童敵討」において2言語（日・英）のオーディオガイド、「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『執心鐘入』」において、4言語（日・英・中・韓）のオーディオガイド、沖縄芝居鑑賞教室「割符」及び研究公演「花売の縁」、企画公演 組踊・歌劇傑作選において字幕タブレット（英）を導入し、外国人客や初めて鑑賞する来場者などの観劇の手助けとした。

(3) 公開講座「からくり花火ー琉球と近世日本ー」(4(5) 公開講座の再掲)

19世紀に琉球国で行われていた「からくり花火」とはどのようなものであったか。近世日本の花火に伝承する長野県上清内路の手作り花火と、茨城県一言主神社のからくり綱火を参照し、琉球の花火の特徴について考察した。講座の最後には、劇場横の組踊公園(屋外)移動し、復元したからくり花火『玉火』の実演をご覧いただいた。(小劇場/157人)

(4) 機内CMの実施

JALとANAの国内線・国際線にて、9月1日から9月30日までの1ヶ月間、国立劇場おきなわのCMを放映した。

(5) 基地内外広告の実施

基地内外の米軍関係者に配布されるフリーペーパー「OKINAWAN LIVING」7月1日号と11月1日号にて、日本博対象公演の広告を掲載した。

(6) ラジオのスポットCMの実施

1月31日から3月17日までの間、県内民放3局(RBCiラジオ、ラジオ沖縄、FM沖縄)にて、3月の組踊・歌劇傑作選に向けた国立劇場おきなわのスポットCMを実施した。

(7) その他の広告媒体による展開

ア 新聞広告

県内在住の外国人等にむけて、琉球新報・沖縄タイムスの両紙にて、『はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「執心鐘入」』、「組踊・歌劇傑作選」の広告を多言語で掲載した。

イ モノレール広告

モノレールを利用する訪日外国人向けに「祝いの宴」のモノレール中吊り広告を実施した。

ウ 新聞折込広告等

県内在住の外国人等にむけて、琉球新報・沖縄タイムスの両紙にて、「祝いの宴」「組踊・歌劇傑作選」の折込広告を実施した。

(8) 首里城での組踊ワークショップの実施

「組踊」のブランディングと知名度向上及び公演への誘客を図るために、日本博対象公演を直前に控える日程で首里城にて組踊ワークショップを実施した。

外国人を始めとする観光客や在沖外国人、県外からの観光客に対し、国指定重要無形文化財でありユネスコ無形文化遺産である「組踊」の歴史背景等を実演を交えて伝えることができた。(令和5年7月19日(水)参加者60名、9月27日(水)参加者94名、11月16日(木)参加者92名 計246名)

(9) バックステージツアーの英語通訳者の配置

夏休みに実施する親子向けの普及公演については、日本博対象公演になっており、インバウンドを誘客しているが、同公演のチケットを購入したお客さまを対象に実施しているバックステージツアーについては、外国人の受付が可能であるものの、英語通訳者を配置しておらず、これまで外国人の参加はなかった。

令和5年度は、バックステージツアーも日本博事業として、英語通訳者を配置し、実施した。(令和5年度実績：95名参加者中外国人8名 ※令和4年度は0名)

(10) 逐次通訳付き組踊ワークショップの実施

普及公演 はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「執心鐘入」にあわせて、逐次通訳付き組踊ワークショップを実施した。スペイン人旅行ジャーナリスト3名が沖縄観光コンベンションビューローの紹介でワークショップに参加した。(公演も鑑賞した。)

## 8 その他必要な業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加に取り組んだ。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
会員数	146	774	1,142	858	1,009	1,242	1,262	1,445	1,657	2,193	2,073	1,952

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
会員数	1,992	1,810	1,636	1,670	1,648	1,266	1,345	1,353	1,425

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月(計4回)に会報を発行し、公演の案内を行った。

イ 会員対象催事の実施

会員の満足度向上を図るため、当劇場で活躍する実演家が伝統芸能の魅力や演じるうえで工夫していること等をトーク形式で談話する「ザ・談会Vol.1.4」を開催した。(令和5年12月9日/参加人数55名)

ウ 新規入会キャンペーンの実施：新規会員の入会を促すことを目的として、次の「友の会新規入会キャンペーン」を実施した。

・「友の会入会金0円キャンペーン」

7月から11月までに上演される普及公演のチケット購入者に限り、公演当日までの入会で入会金を0円とした。(新規入会者：42名)

・国立劇場おきなわ開場20周年記念友の会入会キャンペーン(令和5年11月30日～令和6年12月28日)

どなたでも入会金0円、年会費1,050円のみで入会することができる。(令和5年11月30日～令和6年3月31日の新規入会者：187名)

既存会員から紹介を受けて新規入会があった場合、紹介者会員へ特典として自主公演50%割引券を進呈。(令和5年11月30日～令和6年3月31日の紹介者：59名)

エ 国立劇場おきなわ開場20周年を記念して、「国立劇場おきなわ開場20周年記念観劇ラリー」を実施した。（参加者：101名）

(2) 募金活動等の推進

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	件数	27件	3件	22件	52件
収入	金額	2,100千円	150千円	285千円	2,535千円

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場等募金を募った。

募金収入	件数	161件
	金額	701千円

ウ 20周年協賛金

開場20周年記念公演に向けて、協賛金を募った。

協賛金収入	件数	27件
	金額	1,500千円

(3) 劇場ホームページ等の充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 令和5年度アクセス件数980,695件（月平均81,725件、前年比170,021件増）

イ 国立劇場おきなわSNS（YouTube、LINE、Facebook、Instagram、X）を活用し、自主公演やイベントの情報を配信。

ウ 12月にホームページを改修し、多言語にベトナム語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語を追加したほか、自主公演情報の詳細を英語化した。

エ 劇場HPに旅行会社のバナーを設置し、公演チケット付ツアーの販売に繋がった。

【自主公演日程・演目・出演者】

期 日 等				公演名・演目	出演者
1	定期公演	4月8日 4月9日	昼	琉球舞踊 <b>うりずんの舞</b> 【8日】 第一部「若衆特牛節」「高平良万歳」 「かせかけ」「浜千鳥」 第二部「取納奉行」「むんじゅる」「湊くり節」「仲里節」「糸満乙女」 【9日】 第一部「若衆ぜい」「芋引」「本貫花」「松竹梅鶴亀」 第二部「花風」「前の浜」「谷茶前」「鳩間節」「海のちんぼーら」	【8日】 福田えり 友利早葵 宮城愛佳 古謝渚 川平恵 上原なつき 下地智子 嘉数愛美 宮崎花澄 伊志嶺梓 ほか 【9日】 神谷水輝 前田優紀 宮城梓 新城唯子 西銘孝子 仲嶺夕理彩 瀬名波令奈 上地元美 糸数弘己 江 新城頼里子 照屋優菜 太田奈奈 ほか
2	定期公演	4月22日	昼	琉球舞踊 <b>打組舞踊の会</b> 第一部 「愛しゃ花」「川平節」 「打組鳩間節」「梅の香り」「八重山育ち」「加那よ一天川」 第二部 「打組汀間当」「金細工」「仲里節」「野原遊び」「谷茶前」	皆川律子 孤島丘奈 渡嘉敷栄子 島袋ゆかり 城間末子 祖堅初子 上地美智子 糸満盛幸 真境名英美 喜屋武愛香 宮城小寿江 小嶺和佳子 照屋正江 宇座仁一 嘉数道彦 宮城茂雄 玉城節子 金城美枝子 ほか
3	定期公演	5月13日	昼	組踊 <b>「孝行の巻」</b> 第一部「稲まづん」「下り口説」「花風」「揚作田」「加那よ一」 第二部 組踊「孝行の巻」	金城博恵(降板 代演 佐辺良和) 金城千恵美 徳元美幸 友寿春美 照屋由紀乃 比嘉侑子 西村利江子 玉城盛義 田口博章 高井賢太郎 新垣悟 嘉手苺林一 ほか
4	定期公演	5月27日	昼	三線音楽 <b>湛水流の美</b> 第一部「作田節」「早作田節(下出)」「早作田節(揚出)」「揚作田節(下出)」「揚作田節(揚出)」「諸鈍節」 第二部「チャンナ節」「首里節」「暁節」「茶屋節」	上里平三 渡久山春憲 宮城康明 比嘉徳次 大底秀吉 仲村渠達也 大田守昭 渡慶次哲三 島袋英治 高江洲昌和 宮里秀明 城間盛秋 山内昌也 屋宜盛徳 山城暁 上地呂敏 玉城巖 真栄喜清次 新垣俊道 仲村逸夫 ほか
5	企画公演	6月10日 6月11日	昼	琉球舞踊 <b>新進男性舞踊家の会</b> 【10日】 第一部「稲まづん」「ぜい」「瓦屋」「高平良万歳」 第二部「秋の踊り」「加那よ一」「花風」「取納奉行」「巖の松」 【11日】 第一部「柳」「前の浜」「かせかけ」「高平良万歳」 第二部「浜千鳥」「鳩間節」「汀間当」「丸盆山」「日傘踊り」	宮里光也 島袋浩大 高井賢太郎 比嘉大志 嘉数幸雅 伊波心 森山康人 堀川裕貴 山崎裕貴 佐喜眞一輝 玉城慶 國場海里 知花令磨 平敷勇也 下地心一郎 森山和人 伊藝武士 山田直季 ほか
6	定期公演	6月24日 6月25日	昼	沖縄芝居 <b>「三良若按司」</b> 第一部 舞踊「饒田ぬ前」喜劇「家庭円満菓子」舞踊「チョッカー節」舞踊「早口説」 第二部 時代明朗劇「三良若按司」	上原崇弘 高宮城実人 嘉数道彦 奥平由依 玉城匠 宇座仁一 佐辺良和 平良進 瀬名波孝子 ほか
7	定期公演	7月8日	昼	琉球舞踊 <b>琉球舞踊鑑賞会</b> 第一部「幸福の舞」「しゅんどう」「諸屯」「浜千鳥」「葉かんだ」 第二部「ゼイ」「仲村渠節」「花の踊り子」「いちゅび小」「金細工」「鳩間節」	島袋君子 末吉ヤスエ 安次富紀子 嶺井清美 宮城裕子 知花恵子 又吉静枝 親泊興照 島袋光晴 大城寿乃 仲村江梨子 宮城美佐子 富里敬子 伊舎堂千恵子 金城初枝 ほか
8	普及公演	7月22日	昼	組踊 <b>親子のための組踊鑑賞教室</b> 「二童敵討」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「二童敵討」	玉城匠 高井賢太郎 比嘉大志 國場海里 伊波心 田口博章 知花令磨 玉城慶 比嘉克之 堀川裕貴 ほか



期 日 等				公演名・演目	出 演 者
9	普及公演	8月5日	昼 組踊	<b>琉球舞踊鑑賞教室 ※公演中止</b> 第一部 「老人老女」「若衆ぜい」「かせかけ」「上り口説」 第二部 「むんじゅる」「鳩間節」「貫花」「加那よ一天川」「ましゅんく」	上原崇弘 具志幸大 大浜暢明 入福浜天乃 根間彩奈 仲村圭央 山崎啓貴 小波津尚子 ほか
10	定期公演	8月26日	昼 組踊	<b>「大城崩」「万歳敵討」</b> 第一部 「大城崩」 第二部「万歳敵討」	山崎啓貴 川満香多 親泊久玄 平田智之 宇座仁一 宮城茂雄 東江裕吉 大灣三瑠 佐辺良和 玉城匠 玉城盛義 ほか
11	普及公演	9月14日 9月15日 9月16日	昼 昼 昼 沖縄芝居	<b>沖縄芝居鑑賞教室「割符」</b> 第一部 時代舞踊劇「割符」 第二部 舞踊「南洋浜千鳥」舞踊「勝連節」舞踊劇「浦島」	兼島翔子 廣山えりか 古謝渚 入福浜天乃 奥平由依 友寄由奈 仲宗根朝子 平田晴香 石川詩織 高井賢太郎 堀川裕貴 ほか
12	研究公演	9月30日	昼 組踊	<b>「花売の縁」</b> 第一部 唱えと音楽による「執心鐘入」 第二部 組踊「花売の縁」	岡本凌 下地心一郎 大城貴幸 仲嶺良盛 加屋本真士 宮里和希 大城貴幸 仲嶺良盛 加屋本真士 上原崇弘 比嘉いずみ 玉城匠 ほか
13	定期公演	10月14日	昼 琉球舞踊	<b>創作舞踊の会</b> 第一部 「若水」「琴の調べ」「八重山育ち」「樽囃子」「ふやかりて」 第二部 「百かりゆし」「御祝笠」「宮城くわでいさ」「二面の踊り」「あや愛しゃ」	宮城尚子 多和田美幸 宮城由紀子 知念明日香 与那則子 平良芽美 山城洋子 大田文代 島袋彩乃 喜屋武愛香 孤島丘奈 玉城秀子 ほか
14	企画公演	10月29日	昼 アジア・太平洋地域の芸能	<b>アジア・太平洋地域の芸能 ～海を渡り台湾で継承される伝統音楽 南管～</b> 第一部 「水月耀光」「白雲飄渺」「梅花操」 第二部 「秀才先行」「満空飛」「孫不肖」「心頭傷悲」「共君断約」「牽君手上」	台南・振聲社 麻豆巷口・集英社
15	企画公演	11月11日	夜 本土の芸能	<b>国立劇場寄席</b> 客寄囃子の実演解説、落語、漫才、紙切り	金山はる 古今亭始 ホンキートンク 林家正蔵 三遊亭歌奴 林家二楽 柳家さん喬
16	普及公演	11月15日 11月16日 11月17日 11月18日	朝 昼 朝 昼 朝 昼 朝 昼 組踊	<b>組踊鑑賞教室「執心鐘入」</b> 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「執心鐘入」  ※18日はDiscoverKUMIODORI	高井賢太郎 棚原健太 玉城匠 田口博章 川満香多 上原崇弘 下地心一郎 伊藝武士 ほか
17	定期公演	12月9日	昼 組踊	<b>屋慶名大主敵討</b> 第一部 琉球舞踊 「四季口説」「天川」「江佐節」「取納奉行」 第二部 組踊 「屋慶名大主敵討」	宇座仁一 平田智之 玉城匠 上原崇弘 堀川裕貴 宮城茂雄 親泊久玄 比嘉克之 下地心一郎 玉城慶 山崎啓貴 佐喜眞一輝 嘉数道彦 宮里光也 仲村圭央 ほか

期 日 等				公演名・演目	出演者
18	定期公演	12月16日 12月17日	昼 琉球舞踊	<b>男性舞踊家の会</b> 【16日】 第一部 「かぎやで風」「下り口説」「稲まづん」「前の浜」「伊野波節」 第二部 「加那よー」「繁昌節」「川平節」「秋の踊り」「浜千鳥」「鏡張居」 【17日】 第一部 「女こてい節」「高平良万歳」「瓦屋」「ゼイ」「首里節」 第二部 「しゅんどう」「取納奉行」「本花風」「護身の舞」「鳩間節」「加那よー天川」	石川直也 佐辺良和 川満香多 阿嘉修 大湾三瑠 宮城茂雄 田口博章 上原崇弘 新垣悟 嘉数道彦 玉城盛義 田口博章 東江裕吉 池間隼人 大浜暢明 ほか
19	企画公演	1月13日	昼 記念公演	<b>開場20周年 祝いの宴</b> 第一部 「神歌・こねり」「入子躍」「かぎやで風」「ごゑん節・揚作田節」 第二部 「祝寿の舞」	宮城幸子 志田房子 城間徳太郎 西江喜春 中村一雄 大湾清之 比嘉聰 安仁屋眞昭 高江洲義英 佐辺良和 新垣悟 田口博章 与那嶺綾子 西村綾織 ほか
20	企画公演	1月28日	昼 民族芸能	<b>沖縄本島民俗芸能祭</b> 第一部 獅子舞「二方」棒術「波平棒」民俗舞踊「長伊平屋節」「大願口説」「松竹梅鶴亀」 第二部 シヌグ「シニグ舞」民俗舞踊「屋良あやぐ」狂言「稲しり狂言」民俗舞踊「手間戸」「馬舞」	浦添市勢理客 読谷村波平 本部町伊豆味 本部町伊豆味 名護市我部祖河 本部町具志堅 嘉手納町屋良 今帰仁村謝名 名護市屋部 読谷村高志保
21	定期公演	2月17日	昼 三線音楽	<b>名人たちの歌情け</b>	伊波貞子 田場盛信 金城恵子 徳原清文 宮良康正 伊波久美子 安慶名久美子 比嘉千咲 稲福大吾 鳩間可奈子 宜寿次光 ほか
22	定期公演	2月24日 2月25日	昼 琉球舞踊	<b>琉球舞踊特選会</b> 【24日】 第一部 「かぎやで風」「天川」「揚作田」「赤田風」「取納奉行」「伊野波節」 第二部 「瓦屋」「本花風」「加那よー」「汀間当」「鳩間節」 【25日】 第一部 古典音楽斉唱「松竹梅(揚作田節・東里節・赤田花風節)」「作田」「秋の踊り」「諸屯」「浜千鳥」「高平良万歳」 第二部 「女こてい節」「むんじゅる」「瓦屋」「鳩間節」「加那よー」「磯千鳥」	【24日】 島袋光晴 谷田嘉子 親泊興照 玉城節子 金城美枝子 玉城秀子 又吉静枝 根路銘広美 嶺井清美 安座間明美 宮城豊子 漢那七子 安次富紀子 渡久地美代子 眞境名結子 宮城能造 玉城千枝 【25日】 玉城静江 山城洋子我那覇則子 比嘉涼子 前川美智子 山田多津子 比嘉早苗 島袋君子 皆川律子 比嘉美好 西江喜春 銘苅盛隆 城間盛久 照喜名進 喜舎場盛勝 ほか
23	企画公演	3月2日	昼 本土の芸能	<b>「山口鷺流狂言」</b> 第一部 解説 狂言の楽しみ方 「柿山伏」 第二部 「不毒」「颯果」	山口鷺流狂言保存会、稲田秀雄
24	企画公演	3月16日 3月17日	昼 組踊・沖縄芝居	<b>組踊・歌劇 傑作選</b> 「花売の縁」「泊阿嘉」「執心鐘入」「薬師堂」 【16日】 第一部 舞踊「かぎやで風」組踊「花売の縁」 第二部 歌劇「泊阿嘉」 【17日】 第一部 舞踊「かぎやで風」組踊「執心鐘入」 第二部 歌劇「薬師堂」	【16日】 川満香多 大湾三瑠 石川直也 眞境名正憲 東江裕吉 儀間佳和子 高宮城実人 佐辺良和 ほか 【17日】 田口博章 宮城茂雄 神谷武史 親泊久玄 平田智之 嘉数道彦 知念亜希 玉城静江 宇座仁一 瀬名波孝子 赤嶺啓子 ほか

【自主公演入場率】

公演数	月 日	公演名		実績			計画			<参考> 達成率 (入場者) (b/d)
				座席数	入場者数	入場率	座席数	目標 入場者数	目標 入場率	
				(a)	(b)	(b)/(a)	(c)	(d)	(d/c)	
1	4月8日	うりずんの舞	昼	229席	193人	84.3%	229席	155人	67.6%	124.5%
	4月9日	うりずんの舞	昼	229席	188人	82.1%	229席	155人	67.6%	121.3%
2	4月22日	打組舞踊の会	昼	600席	483人	80.5%	600席	390人	65.0%	123.8%
3	5月13日	孝行の巻	昼	556席	313人	56.3%	536席	322人	60.0%	97.2%
4	5月27日	湛水流の美	昼	246席	178人	72.4%	229席	126人	55.0%	141.3%
5	6月10日	新進男性舞踊家の会	昼	246席	187人	76.0%	229席	155人	67.6%	120.6%
	6月11日	新進男性舞踊家の会	昼	246席	221人	89.8%	229席	155人	67.6%	142.6%
6	6月24日	三良若按司	昼	610席	302人	49.5%	596席	358人	60.0%	84.4%
	6月25日	三良若按司	昼	629席	324人	51.5%	596席	358人	60.0%	90.5%
7	7月8日	琉球舞踊鑑賞会	昼	610席	390人	63.9%	600席	390人	65.0%	100.0%
8	7月22日	親子のための組踊鑑賞教室 「二童敵討」	昼	505席	243人	48.1%	551席	331人	60.0%	73.4%
9	8月5日	琉球舞踊鑑賞教室	昼	-	-	-	611席	-	60.0%	-
10	8月26日	「大城崩」「万歳敵討」	昼	556席	393人	70.7%	536席	322人	60.0%	122.0%
11	9月14日	沖縄芝居鑑賞教室「割符」	朝	544席	291人	53.5%	484席	315人	65.0%	92.4%
	9月15日	沖縄芝居鑑賞教室「割符」	朝	544席	409人	75.2%	484席	315人	65.0%	129.8%
	9月16日	沖縄芝居鑑賞教室「割符」	昼	544席	325人	59.7%	484席	315人	65.0%	103.2%
12	9月30日	花売の縁	昼	556席	276人	49.6%	536席	312人	58.2%	88.5%
13	10月14日	創作舞踊の会	昼	618席	293人	47.4%	600席	390人	65.0%	75.1%
14	10月29日	アジア・太平洋地域の芸能	昼	610席	284人	46.6%	596席	325人	54.5%	87.4%
15	11月11日	国立劇場寄席	夜	618席	346人	56.0%	596席	358人	60.0%	96.6%
16	11月15日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝・昼	1010席	604人	59.8%	1102席	716人	65.0%	84.4%
	11月16日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝・昼	1010席	286人	28.3%	1102席	716人	65.0%	39.9%
	11月17日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝・昼	1010席	777人	76.9%	1102席	716人	65.0%	108.5%
	11月18日	Discover KUMIODORI 「執心鐘入」	昼	505席	275人	54.5%	551席	331人	60.0%	83.1%
17	12月9日	屋慶名大主敵討	昼	556席	305人	54.9%	536席	322人	60.0%	94.7%
18	12月16日	男性舞踊家の会	昼	618席	418人	67.6%	600席	406人	67.6%	103.0%
	12月17日	男性舞踊家の会	昼	618席	392人	63.4%	600席	406人	67.6%	96.6%
19	1月13日	開場20周年祝いの宴	昼	610席	492人	80.7%	596席	447人	75.0%	110.1%
20	1月28日	沖縄本島民俗芸能祭	昼	561席	530人	94.5%	469席	281人	60.0%	188.6%
21	2月17日	名人たちの歌情け	昼	608席	417人	68.6%	596席	328人	55.0%	127.1%
22	2月24日	琉球舞踊特選会	昼	618席	383人	62.0%	600席	390人	65.0%	98.2%
	2月25日	琉球舞踊特選会	昼	618席	357人	57.8%	600席	390人	65.0%	91.5%
23	3月2日	本土の芸能	昼	610席	392人	64.3%	596席	358人	60.0%	109.5%
24	3月16日	組踊・歌劇・傑作選 「花売の縁」「泊阿嘉」	昼	620席	567人	91.5%	596席	387人	65.0%	146.5%
	3月17日	組踊・歌劇・傑作選 「執心鐘入」「薬師堂」	昼	618席	535人	86.6%	596席	358人	60.0%	149.4%
		合計		19,486席	12,369人	63.5%	19,793席	12,099人	63.0%	102.2%

※台風8号の影響で1公演中止

## 【共催公演実績】

	公演名	場所	月日	公演回数	連携協力先
1	沖縄県伝統芸能公演 「華&舞」	小劇場	令和5年6月30日	1	(公財)沖縄県文化振興会
2	沖縄県伝統芸能公演 「肝心(ちむぐる)」	小劇場	令和5年7月7日	1	(公財)沖縄県文化振興会
3	沖縄県伝統芸能公演 「組踊が2倍楽しくなる鑑賞教室Vol.7 組踊「執心鐘入」」	小劇場	令和5年7月21日	1	(公財)沖縄県文化振興会
4	沖縄県伝統芸能公演 「はばたけ！未来を担う若手舞踊家たち！」	小劇場	令和5年8月18日	1	(公財)沖縄県文化振興会
5	沖縄県伝統芸能公演 「もっと知りたい？ もっと楽しい！沖縄の器楽」	小劇場	令和5年8月25日	1	(公財)沖縄県文化振興会
6	沖縄県伝統芸能公演 「第2回高校生選抜かりゆし芸能公演」	小劇場	令和5年8月27日	1	(公財)沖縄県文化振興会
7	沖縄県伝統芸能公演 「琉球古典音楽野村流保存会中部南支部 ～若者の芽～ 組踊へのチャレンジ」	小劇場	令和5年9月15日	1	(公財)沖縄県文化振興会
8	沖縄県伝統芸能公演 「絃ぬ縁(いとぬ縁) ～ 継承～」	小劇場	令和5年11月24日	1	(公財)沖縄県文化振興会
9	新春組踊大公演	大劇場	令和6年1月6日 令和6年1月7日	2	(一社)伝統組踊保存会
10	沖縄県伝統芸能公演 「新作組踊 春夜の夢～牡丹亭の梅と柳」	小劇場	令和6年1月26日	1	(公財)沖縄県文化振興会
	合計			11	

【令和5年度各種イベント】

○公演関連イベント等

タイトル	日程・場所	料金	出演者等	参加者	応募数	定員	備考
近畿日本ツーリスト沖縄 組踊「孝行の巻」と琉球の歴史文化を学ぶ旅	5月13日(土) 12:30~13:30 養成研修室	—	<u>比嘉大志</u> 、 <u>岡本凌</u> 、 <u>棚原健太</u>	7人	7人	20人	5/13組踊「孝行の巻」
令和5年度おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座「組踊への誘い」	5月13日(土) 12:00~16:00 大稽古室	無料	茂木仁史	41人	41人	30人	沖縄県教育委員会主催。講座後、大劇場にて「孝行の巻」を鑑賞
組踊ワークショップ in 首里城	7月19日(水) 10:00~15:00	—	<u>上原崇弘</u> <u>比嘉大志</u> <u>徳田泰樹</u>	60人	60人	60人	首里城ガイドツアー(オプション)とセットになった組踊ワークショップ。 7月22日(土)親子のための組踊鑑賞教室「二童敵討」を始め、バックステージツアー等の日本博対象事業の告知
劇場バックステージツアー	7月29日(土) 7月30日(日) 10:00~12:00 大劇場、大稽古室	無料	<u>比嘉大志</u> 、 (29日) <u>比嘉克之</u> 、 <u>金城亮太</u> (30日) <u>岡本凌</u> <u>新垣勝裕</u>	95人	114人	160人	対象公演 7/22 親子のための組踊鑑賞教室「二童敵討」 8/5 琉球舞踊鑑賞教室
近畿日本ツーリスト沖縄 組踊「大城崩」「万歳敵討」と琉球の歴史文化を学ぶ旅	ワークショップ 8月26日(土) 12:30~13:30 養成研修室	—	<u>下地心一郎</u> 、 <u>高井賢太郎</u> 、 <u>新垣勝裕</u>	18人	18人	20人	8/26 組踊「大城崩」「万歳敵討」を鑑賞
組踊ワークショップ in 首里城	9月27日(水) 10:30~15:00	—	<u>比嘉大志</u> <u>國場海里</u> <u>棚原健太</u>	94人	94人	60人	首里城ガイドツアー(オプション)とセットになった組踊ワークショップ。 9月30日(土)組踊「花売の縁」等の日本博対象事業の告知
組踊ワークショップ in 首里城	11月16日(木) 10:30~15:00	—	<u>比嘉大志</u> <u>堀川裕貴</u> <u>仲嶺良盛</u>	92人	92人	60人	首里城ガイドツアー(オプション)とセットになった組踊ワークショップ。 11月18日(土)はじめての組踊~Discover KUMIODORI~「執心鐘入」等の日本博対象事業の告知
外国人のための組踊ワークショップ	11月18日(土) 12:00~13:30 大稽古室	無料	<u>上原崇弘</u> 、 <u>伊藝武士</u> 、 <u>又吉恭平</u>	16人	16人	20人	11/18はじめての組踊~Discover KUMIODORI~「執心鐘入」を鑑賞

琉球舞踊と組踊 ワークショップ	令和6年 1月23日(火) 13:25~14:15 岡山県 岡山後楽館中学校	無料	<u>金城真次</u> 、 <u>和田信一</u> 、 <u>伊藝武士</u>	71人	71人	71人	「琉球舞踊と組踊」 関連企画 〈岡山後楽館中学校学 生向け〉
			合計	494人	513人	501人	

○その他イベント等

タイトル	日程・場所	料金	出演者等	参加者	応募数	定員	備考
夏休み特別企画 「小道具展示・ 楽器体験・写真 撮影コーナー」	7月22日(土) 開場～公演終 了後 大劇場ホワイ エ	無料 (公演 チケット購 入者限 定)		—	—	—	「組踊小道具、笛の展 示」「写真撮影コーナ ー」「楽器の体験(三 線・太鼓)コーナー」 のブースを設置
おでかけワー クショップin仲西 小学校	11月20日(月) 浦添市立仲西 小学校 小学校体育館	無料 (受託事 業)	<u>金城真次</u> 、 <u>廣山えりか</u> 、 <u>棚原健太</u>	92人			6年生対象
おでかけワー クショップin前田 小学校	11月21日(火) 浦添市立沢岬 小学校 小学校体育館	無料 (受託事 業)	<u>金城真次</u> 、 <u>島尻紀希</u> 、 <u>棚原健太</u>	87人			4年生対象
国立劇場おきな わ開場20周年記 念友の会入会0 円キャンペーン	11月30日(木) ～令和6年12月 28日(木)			187名			どなたでも入会金0 円、年会費1050円のみ で入会する事ができ る。
国立劇場おきな わ開場20周年記 念友の会入会 ご紹介キャンペ ーン	11月30日(木) ～令和6年12月 28日(木)			59名			期間中、入会者を紹介 した会員に割引券(50 %OFF)1枚進呈
国立劇場おきな わ友の会「ザ・ 談会vol.4」	12月9日(土) 12:00～13:00 小劇場	無料	(出演) <u>嘉数道彦</u> <u>池間北斗</u> <u>仲嶺良盛</u> <u>高井賢太郎</u> (聞き手) <u>金城真次</u>	55名	55名	250名	友の会会員限定企画
おでかけワー クショップin当山 小学校	12月12日(火) 浦添市立当山 小学校 小学校体育館	無料 (受託事 業)	<u>金城真次</u> 、 <u>仲嶺夕理彩</u> 、 <u>棚原健太</u>	150人			6年生対象
国立劇場おきな わ友の会限定企 画 国立劇場お きなわ開場20周 年記念観劇ラリ ー	令和6年1月4日 (木)～令和6年 3月31日(日)			101名			令和6年1月～3月ま での自主公演チケット3 公演以上購入者に割引 券(50%OFF)1枚進 呈
			合計	731名	—	—	

※出演者等の下線は、組踊研修修了者